



国立大学法人 兵庫教育大学

HYOGO UNIVERSITY OF TEACHER EDUCATION

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX

Teacher Education Program for the Transformation
-アジャイル型手法を導入したカリキュラム開発-

令和6年度の進捗報告

令和7年2月14日

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

国立大学法人 兵庫教育大学

自律した学習者を育てる教師の養成プログラム ーアジャイル型手法を導入したカリキュラム開発ー

TEX Teacher Education program
for the Transformation

(1) 先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

① 新・教員養成スタンダードの策定

新・スタンダードの項目に即したテーマ設定で教職科目体系を精緻化・フレキシブルな改善システム

新・兵庫教育大学教員養成スタンダード

- ▶ e-ポートフォリオや資質・能力ごとの GPA による可視化システム

② 先導的・革新的教職科目の開発

- テーマ1 学習者中心のデザイン、ファシリテーターとしての教師の役割、インクルーシブ教育
- テーマ2 EdTech、教育データの活用および STEAM 教育
- テーマ3 教師の連携・協働による教育体制の構築のための教育
- テーマ4 教職大学院共通5領域に加える新たな領域科目の開発とその汎用化

学生

- ▶ 学習者観・学習観の転換
- ▶ インクルーシブ教育の理解
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データが活用できる
- ▶ 教員採用試験受験率の向上



新任教師

- ▶ 学習者中心の授業ができる
- ▶ インクルーシブ教育が実践できる
- ▶ EdTechが活用できる
- ▶ 教育データに関する実務ができる
- ▶ STEAM教育が実践できる



自律した学習者を育てる教師

- ▶ 児童・生徒の認知・非認知能力の向上を支援する教師
- ▶ カリキュラム・マネジメントを通して授業や学習経験を改善する教師
- ▶ 連携・協働の中核を担う教師
- ▶ フレキシブルに学び続ける教師



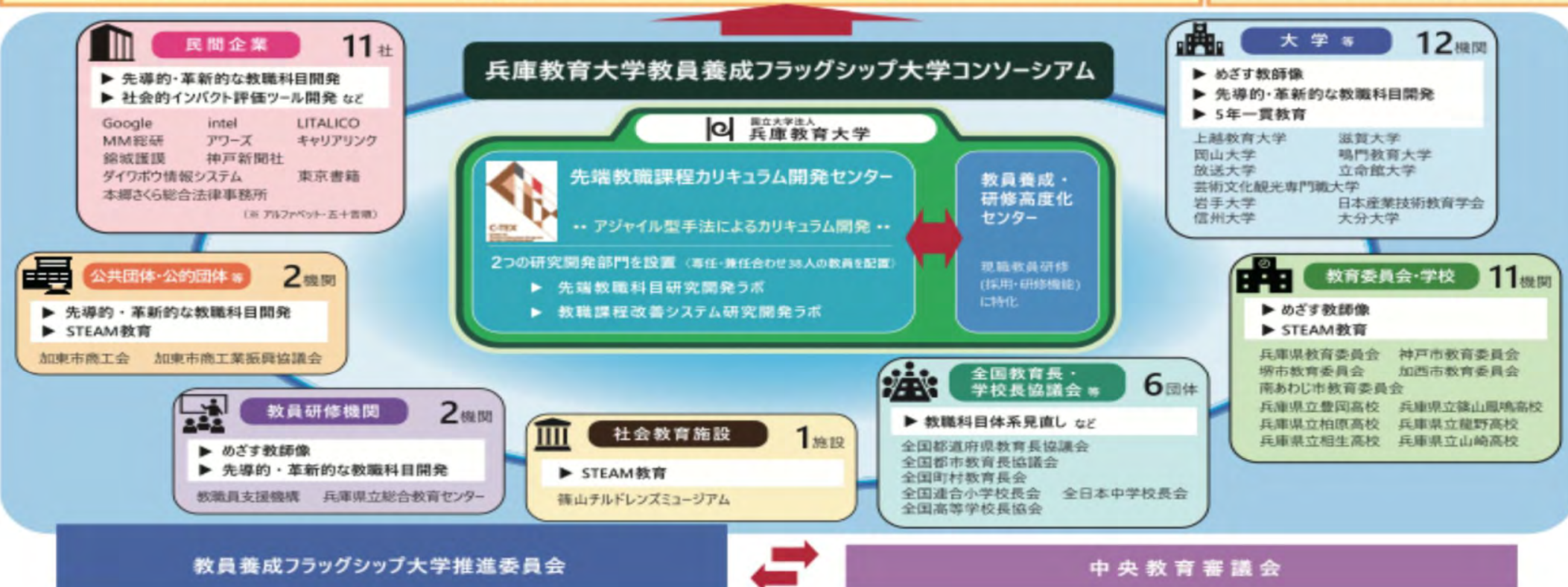
(2) 全国的な教員養成ネットワークの構築と成果の展開

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム

- ▶ アジャイル型手法とリンクした社会的インパクト評価ツールの開発
- ▶ 全国ネットワークによる成果発信 (教員養成スタンダード・カリキュラム・FD)

(3) 取組の検証を踏まえた教職課程に関する制度の改善への貢献

- ▶ 5年一貫による教員養成など教員養成の制度改革への貢献
- ▶ 教育大学(学部)における専門職養成機能の強化





①先導的・革新的な 教員養成プログラム・教職科目の研究・開発



「学び続ける教師」を目指して

■ 兵庫教育大学が目指す教師像

皆さんは、「世界一、素晴らしい授業」ってどんな授業だと思いますか？あるいは、「10年前の素晴らしい授業」と「10年後の素晴らしい授業」とは果たして同じだと思いますか？

言うまでもなく、唯一無二の「世界一、素晴らしい授業」は存在しません。また、「10年前の素晴らしい授業」は、10年後にも「素晴らしい授業」だと評価されるとは限りません。しかし、「その時のAさんにとっての素晴らしい授業」は確実に存在しています。教育は、一人一人の子供の実態に応じて、その個別具体性に寄り添いながら、ねらいとする資質・能力を育成していくことが求められます。一方で、学習指導要領や幼稚園教育要領は概ね10年に1度、改訂が行われます。これは、社会の変化に対応して、教育の考え方もどんどんと進化していくからです。

このように考えると、教師という仕事は、教職に関わるしっかりとした軸を持ちながら、一人一人の子供の個別具体性を学び取るとともに、その子供たちが大人になる10年後、20年後の未来を予見しながら、新しい教育改革の考え方を学び続けていく必要があります。教師の専門性は、「学び続ける」ことこそ存在しているのです。

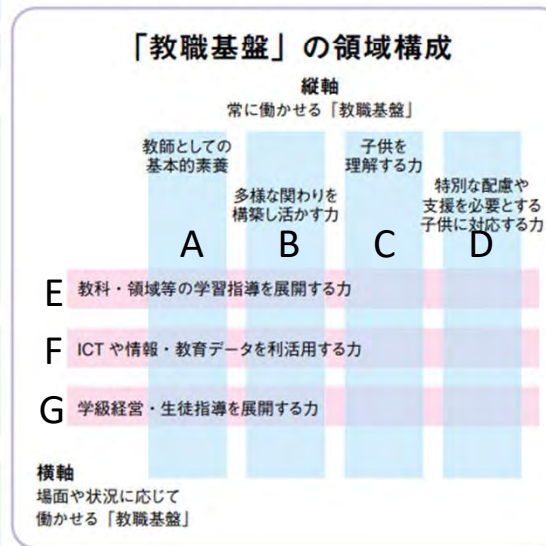
兵庫教育大学では、このような考え方のもと、「学び続ける教師」の育成を目指しています。本学での学修をスタートラインにして、生涯にわたって継続的に自己の専門性を高め続けていける、そんな力（CPD）を皆さんに獲得して欲しいと願っています。



兵庫教育大学 新・教員養成スタンダード

19の教職基盤

- A 01- 豊かな人間性・教養、人権意識
- A 02- 教職の意義と関係法規、学習指導要領、教育改革の動向等
- A 03- 学校の組織マネジメントと働き方
- B 04- 連携・協働、コミュニケーション、ファシリテーション
- C 05- 子供の発達と学習
- D 06- ダイバーシティとインクルージョンの教育
- E 07- 学習者中心の学習観・授業観
- E 08- 教科等の専門性と教材研究
- E 09- 授業設計・実践・評価・改善
- E 10- カリキュラムの開発・実施・評価
- E 11- STEAM 教育
- F 12- ICT の利活用
- F 13- 情報教育(含プログラミング教育、情報モラル・セキュリティ教育)
- F 14- 教育データの活用
- G 15- 生徒指導・生活指導
- G 16- 学級経営、特別活動
- G 17- 教育相談
- G 18- キャリア教育
- G 19- 防災教育、学校安全





カリキュラムポリシー

教養科目群

(アカデミックスキル科目、社会課題探究科目、理数系基礎科目、グローバルスタディーズ科目、表現コミュニケーション科目等)

教職共通科目群

(教育基礎科目、発達・心理科目、**連携協働科目**、**インクルージョン科目**等)

専門科目群

(教科教育、幼年教育に係る専門科目)

教育内容・方法科目群

(**学習観・授業観転換科目**、初等内容科目、初等教科・領域教育法科目、**STEAM教育科目**、**ICT・情報・データ利活用科目**、学級経営・生徒指導科目、教職支援科目)

教職探究・

リフレクション科目群

(教職キャリア発達科目、実地教育科目、インターンシップ科目等)

オレンジ:フラッグシップで新設した先導的科目



教職科目として新しく開設した科目

21単位

*：中高免には適用せず

テーマ	科目名	単位	授業方法	学年
教師の連携・協働	子どもの安全と学校組織	2	講演	1
	教師の連携・協働と学校経営	2	講演	3
	多機関連携と学校防災	2	講演	3
インクルージョン	インクルーシブ教育基礎論	2	講演	1
	インクルーシブ教育実践論	2	講演	2
学習観、授業観の転換	学習科学と授業のリデザイン	2	講演	2
	ラーニング・ファシリテーションの理論と実践	1	講演	2
EdTech	デジタル学習環境と情報活用	1	講演	1
	小学校プログラミング教育教材論*	1	講演	2
	情報モラル・セキュリティ教育論	1	講演	2
教育データサイエンス	教育データサイエンス	2	講演	1
STEAM教育	STEAM教育概論	1	講義	2
	STEAM教育演習	2	演習	2

学習指導系カリキュラムの構成

1・2年次

3・4年次

授業づくりの基礎・基本
(従来のコアカリ)

学習観の転換
新たに求められる学び

学びの個性化・専門性向上

CPDへの方向づけ

講義・演習・探究科目

初等教科内容科目
初等教科教育法科目
教職キャリア発達科目

学習観・授業観
転換科目
ICT・情報・
データ利活用科目
STEAM教育科目

多様な
選択科目
専門科目

転換した学習観の落とし込み

教職実践演習

初等教科授業デザイン科目

実地教育

学校観察実習

フレンドシップ実習

初等・中等基礎実習
& リフレクション

学校教育応用実習
(選択)



現行の教職科目から減ずる科目

現行の教職科目は、ほぼ全てを2単位科目から、2つの1単位科目（例えば教育基礎論は、教育基礎論Ⅰと教育基礎論Ⅱ）に分割。Ⅰを必修（コアカリを満たす）、Ⅱは選択。

初等教科教育法は英語を除き2単位から1単位に（10科目必修）。初等教科内容科目は、10科目必修にしていたものを6科目選択必修に。

教科及び教科の指導法に関する科目	初等教科教育法 初等教科内容科目（各1単位）	10科目20単位必修 10科目必修	→ 10科目11単位必修 → 6科目選択必修	-9単位 -4単位	-13単位
教育の基礎的理解に関する科目	教育基礎論 2→1単位、 教職原論 2→1単位 教育社会学 2→1単位、 発達心理学 2→1単位、	教育史 2→1単位 教育制度論 2→1単位 教育心理学 2→1単位	選択必修 必修 選択必修 選択必修	-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育方法論 2→1単位 総合的な学習の時間の理論と実践 2→1単位 教育相談論 2→1単位 特別活動論 2→1単位			-1単位 -1単位 -1単位 -1単位	-4単位

小学校1種免の場合



フラッグシップ大学の特例適用以外に新設した科目

必修	教職基盤探究（1単位） ※学校課題事例研究Ⅰを改廃
	小学校授業づくり入門（1単位）
	教育情報化概論（1単位） ※情報通信技術活用論を改廃
選択必修	初等教科授業デザイン10科目（各1単位） 5単位以上



教職大学院共通5領域における新設科目

各教職大学院において共通的に開設すべき授業科目の領域(5領域)(学生はすべての領域にわたり履修)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| (1)教育課程の編成・実施に関する領域 | (2)教科等の実践的な指導方法に関する領域 |
| (3)生徒指導、教育相談に関する領域 | (4)学級経営、学校経営に関する領域 |
| (5)学校教育と教員の在り方に関する領域 | |

令和7年度より開設

- | | | |
|---------------------|--------|-------|
| ・教育実践研究のためのデータサイエンス | 領域 (2) | 1単位選択 |
| ・STEAM教育とICT活用 | 領域 (2) | 1単位必修 |
| ・インクルーシブ教育論 | 領域 (5) | 2単位選択 |



授業評価を実施したフラッグシップ科目（試行を含む）

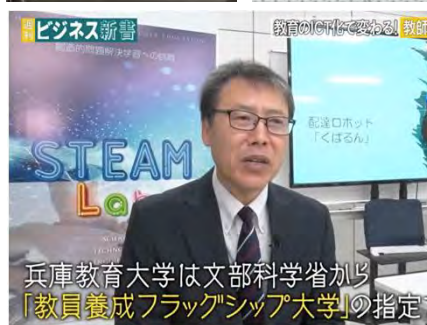
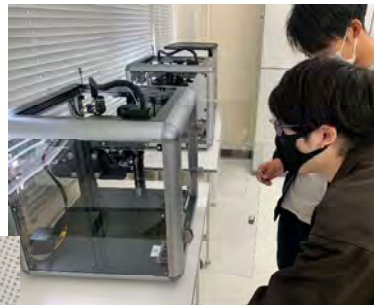
年度	科目名	試行科目	連携先	受講者数	平均値
4	AI・データサイエンス基礎			140	3.27
4	教育データサイエンス			96	3.20
4	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市	14	3.92
4	教育情報化概論	○	ダイワボウ情報システム(株)	173	3.71
5	AI・データサイエンス基礎			145	3.47
5	教育データサイエンス		(株)MM総研	147	3.54
5	STEAM教育演習（教養ゼミ）	○	加西市、加東市 アドベンチャーワールド	36	3.79
5	インクルーシブ教育実践論 （障害者理解と支援（入門））	○		14	3.92
5	インクルーシブ教育実践論 （特別支援教育概説A）	○		103	3.76

4件法による



学修環境の整備

STEAM Lab 2022～ 大学と附属に設置



Intel, ダイワ
ボウ情報シス
テムとの連携
により
STEAM Lab
の整備(大学/
附属小中)

そのほか
共通講義棟に
Studio GIGA
の設置、小型
モニタと可動
式机椅子でグ
ループ学習し
やすい
教室に変更

Innovation Commons 2023～ 大学に設置





②全国的な教員養成ネットワークの 構築と成果の展開



先端教職課程カリキュラム開発センター（C-TEX）

2022.4.～ （事務組織：学務課、大学改革・広報室）



教員養成フラッグシップ大学指定事業
兵庫教育大学
先端教職課程カリキュラム開発センター

先端教職科目
研究開発ラボ 2022.4～

教職課程改善システム
研究開発ラボ 2022.4～

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学 コンソーシアム

2022.4.～（事務局はC-TEX）

教員養成・研修高度化センター（CReATE）

2018.4.～ （事務組織：教員養成・研修企画室）



Center for Research in
Advanced Teacher Education

教員養成・研修
デザインコア 2022.4～

2022年3月

民間企業13社、国公私立大学8大学、研究機関、教育委員会・学校、教育行政関係機関、NPOなど15機関で構成される「兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアム」キックオフミーティング開催。

2022年5月～

民間企業と科目開発ミーティングを順次開始。CReATE Seminarへの参画。

2022年9月

新・教員養成スタンダードに関するパブリックコメントを学内および連携大学、教育委員会に対して実施。

2023年3月

令和4年度進捗報告、研修会を開催。

このほか、大学等とは覚書を交換済み。連携協定は順次締結し、年度内に完了。

一体的改革推進事業による科目開発研究。

2024年2月

令和5年度進捗報告会を開催。

2024年8月

日本教育大学協会シンポジウム

2024年9月

大阪教育大学シンポジウム

2025年12月

中教審教員養成部会での報告

2025年2月

令和6年度進捗報告会を開催。



③教員養成フラッグシップ大学としての 成果目標と今後の展望

「自律した学習者を育てる教師の養成プログラム TEX」を推進するため、先導的・革新的教職科目の開発と改善、多様なステークホルダーとの連携・協働体制の構築、成果の全国展開という3つの柱で取り組んできた。また、それぞれの柱に対応したKPIを設定して、事業の進捗管理と推進を行っている。これらの取組を通して、自律した学習者が育つことを目指している。

先導的・革新的教職科目の開発と改善

○本学での学修をスタートラインにし、生涯にわたって継続的に自己の専門性を高め続ける力CPD(Continuing Professional Development)を獲得するための拠り所となる、新・教員養成スタンダードを開発した。今後は、スタンダードを運用しながら、学生の省察的な学びを促す。

○民間企業等と連携してアジャイル型の科目・カリキュラム開発により、先導的・革新的教職科目を開発してきた。開発する科目数は全体で13科目であるが、そのほとんどを民間企業等との連携により開発している。

○今後は、それらの科目の内容や方法が継続的に改善されるよう、研究を進めると共に、学生による授業評価により、満足度の調査を続ける。

これらの事項を進める上でのKPIが右の3つである。

民間企業の参画・連携による授業科目数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	4科目	7科目	10科目	12科目	12科目
実績値	8科目	11科目	11科目	／	／

先導的・革新的教職科目の本学での実装科目数（試行科目を含む）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	4科目	7科目	10科目	11科目	13科目
実績値	8科目	12科目	12科目	／	／

先導的・革新的教職科目の学生満足度（授業評価）（満足度は4点満点）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	3.5以上	3.5以上	3.5以上	3.5以上	3.5以上
実績値	3.53	3.63	／	／	／

多様なステークホルダーとの連携・協働体制の構築

○民間企業等と連携し、教員養成フラッグシップ大学事業を進めてきた。今後は、汎用化、全国展開段階に移行するため、コンソーシアムへの参画機関に大学を、さらに、フラッグシップのカリキュラムの魅力を伝えるために、高等学校の参画機関を増加させる必要がある。

○民間企業や教育委員会等との共同研究（共同事業）は、科目やカリキュラムの開発や改善にとって重要な指標である。

これらの事項を進める上でのKPIが右の2つである。

兵庫教育大学教員養成フラッグシップ大学コンソーシアムへの参画機関数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	36機関	→	→	→	46機関
実績値	36機関	37機関	45機関	／	／

共同研究（共同事業）の実施件数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	10件	12件	15件	20件	20件
実績値	13件	20件	32件	／	／

成果の全国展開

○本学で開発した先導的・革新的教職科目を他の教職課程を持つ大学で活用しやすいように汎用化して、教職課程コアカリキュラムの目標群とシラバスや教材などの具体を組み合わせたパッケージとして提供する。

すでに、複数の大学での活用可能性が高まっている。

○学習観、授業観の転換で最も難しいのは、大学教員の学習観、授業観の転換を図ることであろう。この問題を解決するため、連携機関を巻き込んだFDを積極的に展開している。

これらの事項を進める上でのKPIが右の2つである。

全国の教職課程を持つ大学に展開できる汎用化された科目数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	－	2科目	3科目	10科目	13科目
実績値	－	2科目	／	／	／

連携大学や連携民間企業等を巻き込んだFD研修会の満足度

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
目標値	3.5以上	3.5以上	3.5以上	3.5以上	3.5以上
実績値	3.67	3.65	／	／	／